

とよま 登米懐古館が

生まれ変わりました



住所/登米町寺池桜小路72-6
 休館日/12/28~1/4 開館時間/9:00~16:30
 入館料(団体割引あり)/一般400円、高校生300円、小中学生200円
 〇登米懐古館 ☎0220(52)3578



1完成した登米懐古館の外観 2隈氏、残間氏による完成記念講演会
 3佐藤氏による開館記念講演 4開館記念式典では、完成を祝い関係者がテープカット。登米謡曲会による謡やとよま山車まつり保存会によるお囃子で地元の伝承芸能が披露された 6とめふるさと大使委嘱状を熊谷市長から隈氏へ交付 7館内の様子。登米伊達家ゆかりの甲冑や刀剣などが展示



市の貴重な文化財を守るため、登米町寺池桜小路に2016年から移転新築整備を進めていた登米懐古館が完成し、9月8日にオープンしました。

登米懐古館は旧登米町名誉町民の渡辺政人氏の寄贈により、1961年に寺池城址に建設されたもので、館内には、登米伊達家ゆかりの甲冑や刀剣などを展示。老朽化が進んでいたため、新国立競技場の設計に携わり、本市の伝統芸能伝承館「森舞台」を手掛けた建築家隈研吾氏の設計により、武家屋敷通りに面した場所に移転新築しました。

建物は鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積約824平方メートル。外観はまち並み景観との調和を基本にスレート、木、土、竹など市内産材を活用し、常設展示室、企画展示室、収蔵庫、ホール、事務室を備えています。

開館前の9月4日には、とよま観光物産センターで完成記念講演会が開かれ、約200人が来場。隈氏と仙台市出身のプロデューサー・残間里江子氏が「登米の可能性、日本の可能性」をテーマに講演しました。また、本市初となる「とめふるさと大使」として、隈氏に委嘱状を交付。隈氏は

「登米で手掛けた『森舞台』は非常に思い深い作品。登米にはとてもお世話になったので、大使として登米市に恩返しをしていきたい」と意欲を語りました。

9月8日には開館記念式典を開催。市民や関係者らが開館を祝いました。熊谷盛廣市長は「地域の皆さんの協力で移転新築することができた。地域の歴史や貴重な文化財への理解を深めるとともに観光の拠点としての誘客効果や交流人口の増加などに期待したい」とあいさつしました。

関係者によるテープカットで入場が開始。開館記念として、元仙台市博物館長の佐藤憲一氏が「登米懐古館所蔵の伊達政宗関係資料について」と題し講演しました。当日は入場料無料で見学でき、約600人が新たな施設で地域の歴史に触れました。

みやぎの明治村に新たに生まれ変わった登米懐古館。周囲の施設とも連携しながら、観光集客アップに向けて取り組んでいきます。



とよま 登米産 天然スレートを提供した 日野 廣生さん (登米町蛭沢)

登米懐古館の屋根に使うスレートを探しているという話を聞き、少しでも役に立てるのならばと思い提供しました。提供したスレートは、倉庫のスレート屋根を置き替えたときに取っておいたもの一部。うちでは、昔使っていた屋外の風呂場やトイレなど、スレート屋根の建物を壊さずに保存していた、修復が必要になったときのために捨てずにいました。東京駅の屋根に使われるなど、登米町の特産品だったスレートで葺かれた登米懐古館。新しいながらも、すでにまち並みに溶け込んでいますね。



登米懐古館の屋根をスレートで葺いた 佐々木 信平さん (石巻市)

スレート職人は全国に10人前後しかおらず、この技術を絶やさないよう、後継者育成にも力を入れています。私は豊里町出身なので、登米懐古館の屋根を担当することになり、何かの縁を感じました。スレートで屋根を葺くといっても、今は山が閉鎖し、新たに切り出せないため、再利用を集めることから始めました。この辺りでスレートの建物を持っている家は、修復用に何百枚と保管しているようだったので、チラシを配り協力者を募集。連絡があれば訪問し、屋根に乗っているものは一枚ずつ丁寧に剥がして汚れを落とし、うるこ形に加工していききました。登米懐古館の特徴は、三角形の屋根を全てるうこ形で葺いているところです。これはとても技術がいります。下から上にいくにしたがって、小さくなるように大きさを調整し、一枚一枚きれいに重なるように加工しながら、約2万5千枚のスレートを屋根に乗せました。この技術は職人としての一番の見せ場だと思います。登米懐古館の展示品はもちろん、建物も見ていただき、スレート屋根の美しさに登米町の文化を感じてもらいたいですね。

Interview 来場者に聴く

服部 茂芳さん (埼玉県所沢市)

妻の実家が東和なので、夏は毎月のように草刈りに来ています。ちょうど登米懐古館が新たにオープンすると新聞に載っていたので、来てみました。建物の雰囲気が、「みやぎの明治村」に合っていますね。庭園通路のスレートを縦に使った見せ方は、すごいアイデアだと思いました。



渡辺 きつ子さん/ひなたさん (仙台市太白区) かつ子:登米でうなぎを食べながら、隈さんが設計した施設のデザインや木の使い方を見ようと思って来ました。ひなた:おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんの5人で来ました。よろしいや刀の展示が面白かったです。